

QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、各議員の一般質問の動画が視聴できます。

創世会
藤原 正光



地域の宝である横須賀高等学校の今後は

Q 掛川市の存続活動として、高校再編対策室や全庁体制の協議会の設置、学校に通う生徒のいる近隣市へ協力要請ができないか伺う。



市外から通う生徒が半数以上いる横須賀高校

引き続き、存続のための要望活動をしていく

A 存続活動については、何よりも地元に住民の声や横須賀高校の生徒の思い、さらには「南遠地域教育環境整備推進協議会」を中心とした多くの市民や事業者の声が、静岡県や県教育委員会に届くことが最も重要な

ことと考えています。今後も要望活動や協議会の支援を行うとともに、近隣市にも横須賀高校の存続についての協力をお願いしていきます。

小規模保育事業所のあり方は

Q 入所希望時に、希望者の家庭にあった保育を提案してくれる人の配置をして、選択肢を広げる体制ができないか伺う。

希望にあった園を選択できる環境づくりに努めている

A 現在、保育所等の入所を希望される方に対し、事前の相談や申込書の受付時に、園の状況をよく知る職員が丁寧に案内しています。また、私立園に対しPR動画の作成を依頼し、市のホームページや子育て案内サイト「かけっこ」等に掲載することで、園を知る機会を増やすなど、それぞれの御家庭の希望にあった園を選択できる環境づくりに努めています。

共に創る掛川
富田まゆみ



総合的なスポーツ振興のための計画・審議会を設置を

Q スポーツの振興は、各年代ごとの健康づくりや競技力向上、スポーツを通じた人間形成、介護予防、社会保障費の抑制にも繋がり、観光振興・交流人口の増加にも効果があることから、「スポーツ振興計画」「スポーツ振興審議会」の設置が有効と考える。いかがか。



令和4年度以降に計画見直し、審議会等の設置を検討

A 令和4年3月に国・県の新たな計画が策定される予定です。これらの計画を踏まえて、令和4年度以降、計画の見直しを行っていきたくと考えています。また、計画策定においては、外部の専門家や市民から意見を聞くための策定委員会を、計画策定後に

計画の推進と進捗管理を行う推進委員会等の設置を検討していきます。

中学校部活動の課題解決となる地域部活化を効果的に

Q 人間形成の場でもある中学校部活動は、生徒数減少による存続の危機や、教職員の長時間勤務の要因ともなっている。地域部活化の課題を解決し効果的に進めるための方策を伺う。

各中学校や地域の関係団体等と連携して検討を行う

A 保護者や教員を対象としたアンケートでは、部活動の地域展開について肯定的な回答が多数でありましたが、費用負担の在り方や活動場所への移動手段、指導者の確保や育成などの課題が明らかになりました。今後は、様々なニーズに対応できる魅力ある活動の体制づくりへ向けて、各中学校や地域の関係団体等と検討を進めていきます。

【その他の質問事項】

・久保田市長の市政運営について